

平成25年度第3回京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議 議事要旨

日 時: 平成25年12月25日(水) 15:00～17:00

会 場: 川崎市産業振興会館 4階 企画展示場

主な議事内容

1 座長の選任について

- ・宮田座長の異動に伴い、藤井東燃ゼネラル石油(株)川崎工場長が新座長に選任された。

2 講演

講師: 平野 創氏(成城大学 経済学部 准教授)

演題: 京浜臨海部コンビナートの国際競争力強化に向けて

- ・経営資源の観点からの地域内連携、地域間連携への展開、日本の製造業の将来像、行政支援のあり方などに関する講演があった後、質疑応答を行った。

3 将来像とロードマップについて

(リーフレット「京浜スマートコンビナートの構築に向けて」のブラッシュアップ)

- ・事務局から、これまでに出された意見、現時点での内容について説明があった後、意見交換を行った。2月に開催される川崎国際環境技術展での配布に向け、内容を詰めていくこととなった。

4 ワーキンググループ等からの報告

①ユーティリティ共有化ワーキンググループについて(昭和電工株式会社)

- ・9月に開催されたワーキンググループでは、「ユーティリティのアウトソーシングの意義」について話題提供があった後、各社から蒸気、窒素、水素、電力に関する需給等の説明があり、今後、種類ごとの検討を深めるとともに、相互の事業所の視察を行うこととなった、との報告があった。

②LNG冷熱活用ワーキンググループについて(東京ガス株式会社)

- ・これまでの活動経過について説明があった後、1月に現地視察を行う予定との報告があった。

③川崎臨海部水素ネットワーク協議会について(川崎市)

- ・11月に開催された第2回協議会では、川崎水素エネルギーフロンティア国家戦略特区などに関する情報提供がなされた後、今後の展開に関する協議を行った、との報告があった。

④その他(東亜石油株式会社、旭化成ケミカルズ株式会社)

- ・副生水素を石油精製の脱硫で活用できないか、関係者で意見交換を行ったところ、潜在的な水素の量は豊富だが、接続する配管等の問題から検討が難しい事例があった、との報告があった。
- ・ユーティリティだけでなく、原料の融通、温水の活用など、様々な可能性を探るため、引き続き、情報交換を密にしていくことが重要であるとの意見があった。

5 その他

- ・平成25年度補正予算およびエネルギー基盤強靱化への当局の取り組み状況について、関東経済産業局から報告があった。
- ・全国石油コンビナート立地道府県協議会による要望活動結果について、神奈川県から報告があった。

以上